

対策区分	事業
【知る】 ◆ 鳥獣の生息状況や被害の実態を把握するための調査・情報収集	(1) ツキノワグマ生息状況調査 - 効果的な対策につなげるための新たなモニタリング手法の検討（山大と連携） (2) 出没情報の即時把握・県民への注意喚起 - アプリを用い市町村と連携して、出没情報を速やかに発信＜新規＞
【守る】 ◆ 人の日常生活圏への侵入防止	(3) 人とクマのすみ分けの推進 - クマの誘因物となる不用果樹伐採への支援 - 藪の刈払い等への支援 - 県管理河川における藪の刈払いの実施 - 林縁部の緩衝帯整備【農林】 - AIカメラ等を活用した誘因源、侵入経路等の把握・分析＜新規＞ - 広葉樹の病害虫被害防除への支援【農林】 (4) クマ対策に係る 専門家の派遣 - 市町村・学校・保育施設等を対象にした研修会等の実施 - 市町村向けの緊急銃猟訓練の実施 (5) 農作物の被害防止に関する支援 - 電気柵等の設置への補助、ICTわな等の購入への補助【農林】
【捕る】 ◆ 鳥獣の個体数を適正に管理するため、過剰な個体を捕獲し、被害を軽減	(6) 市街地出没対応 - クマ撃退用スプレー追加配備、ドローンを用いた搜索等の現場対応力の強化【警察本部】 - 緊急銃猟に係る市町村支援 ①装備品の購入等、出没時の体制構築事業への補助 ②保険料、日当等の捕獲事業への補助 ③市街地出没時のパトロールへの補助＜新規＞ (7) 春季捕獲の強化 - 個体数削減や若手ハンター育成のため春季捕獲を強化（主要生息域での銃猟等） (8) 麻酔銃取扱者の配置の強化 - 市街地出没時等の対応のため、麻酔銃取扱者を3名に増員 (9) 猟友会等への支援 - 捕獲等に必要な物品購入等への補助 - 担い手の確保等に必要な経費への補助
【体制】 ◆ 機動的・広域的に実働できる持続可能な被害防除体制の整備	(10) 市町村と連携した「中間支援組織」の設置の検討 (11) 市町村における捕獲実務者（ガバメントハンター）配置への支援＜新規＞